

## 経済指標ウォッチャー

# 米国CPI 7月は前年同月比+5.4%の上昇

## 物価上昇圧力の要因が解消されるには時間を要する見込み

### 消費者物価指数 (CPI) とは？

CPIとは消費者が実際に購入する段階の、輸送・食品・医療などの消費財やサービスの価格（物価）の変動を表す指数。CPIの項目、構成比、算出方法には国ごとに違いがある。米国では労働省が毎月中旬ごろに公表する。物価変動の基調をみるために価格変動の大きい項目を除いたコアCPIが重視されることが多い。米国ではCPIからエネルギーと食品を除いて、コアCPIが算出される。

(参考：日本ではCPIから食品を除いてコアCPIが算出される)

### CPIは前年同月比5.4%上昇

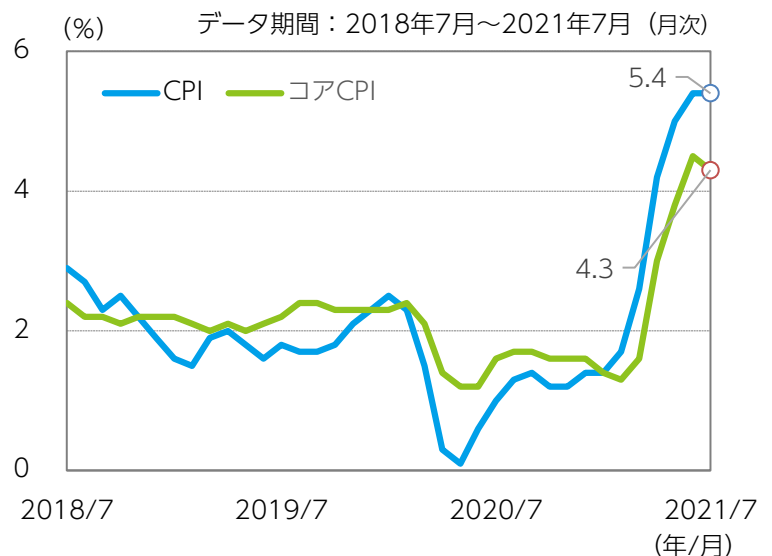
11日に米労働省が公表した7月のCPIは前年同月比+5.4%と約13年ぶりの高水準となった6月と同水準となり、市場予想の同+5.3%をやや上回ったものの、概ね市場予想どおりの結果となりました。変動の大きいエネルギーと食品を除いたコアCPIは市場予想と一致した同+4.3%と6月の同+4.5%から低下したものの、引き続き高い水準となっています(図表1)。

中古車、旅客運賃、エネルギー価格などが前年同月比で高い伸びとなっており、CPIが高止まりした原因となったとみられます。

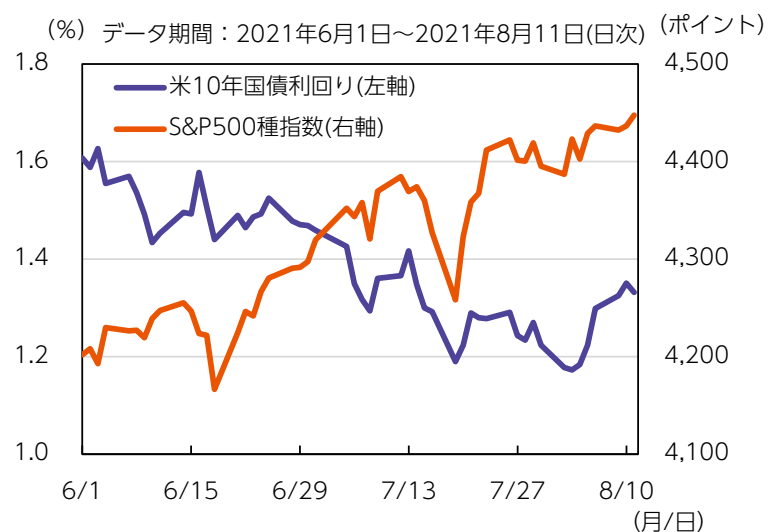
### 物流網混乱や原材料不足解消には時間が必要

米国のCPIは3カ月連続で前年同月比で5%を超える高い上昇率となったものの、ほぼ市場予想通りの結果となったことから、米長期金利は小幅に低下、株価は小幅に上昇と、市場の反応は限定的なものとなりました(図表2)。FRB(米連邦準備制度理事会)はインフレ率の上昇は一時的であるとの見方を繰り返しているものの、このままCPIが高止まりすれば、インフレ加速から、テーパリング(量的緩和縮小)開始時期が前倒しされるとの一部投資家による見方が再燃することも想定されます。8月上旬に公表されたISM(全米供給管理協会)景況感指数では、卸売価格が高止まりしていることが示唆されており、今後消費者物価に転嫁されることも考えられます。供給面の制約となっている物流網の混乱、原材料不足や人材不足が解消されるには時間がかかるとみられ、物価上昇圧力が続く可能性は高いものと思われま

図表1：米国のCPIとコアCPIの推移



図表2：米国の株価と長期金利の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>